

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 消防局・警防課

事業名	消防水利整備事業	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額	
					33,897	12,830
【目的】 耐震性を有する防火水槽の整備を推進し、大規模地震災害時等における有効水利の確保を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。 【内容】 消防水利については、90%近くを消火栓が占めているが、地震等大規模災害時において、水道の断水等により消火栓が使えなくなる可能性があることから、耐震性を有する防火水槽100㎡級及び40㎡級を整備するとともに、設置後50年以上経過し老朽化している防火水槽を補強する。 【今年度要求のポイント】 大規模災害時に備え、消火栓以外の消防水利の充実整備をさらに図るもの。 また、今後さらに増加していく老朽化した防火水槽の耐震補強工事の実施計画策定の根拠とするため、補強工事実施から約10年が経過した水槽内部の現状、調査内容、調査を実施する。	債務負担行為 期間 H ~ H	要求額(千円)				
		主な要求内容		(単位:千円)		
	項目		28年度予算	29年度要求額	内容・積算等	
	防火水槽設置工事等		9,300	57,849	40㎡、100㎡設置工事、補強工事	
	耐震補強設計業務		0	1,748		
	耐震補強防火水槽調査業務		0	994		
	応急修理費		3,450	2,000		
	防火水槽撤去工事		0	2,500		
	印刷製本費		80	80		
	合計		12,830	65,171		
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～28年度)】 平成27年度までは毎年100㎡級及び40㎡級の耐震性を有する防火水槽各1基を設置。平成20年より防火水槽の補強工事を1基ずつ実施。平成28年度は40㎡級1基を設置。		【29年度】 100㎡級1基及び40㎡級3基の耐震性を有する防火水槽を設置。防火水槽の補強工事を1基実施。耐震補強工事完了から約10年が経過した防火水槽1基の現況調査を実施。		【今後予定(30年度～)】 100㎡級1基及び40㎡級8基の耐震性を有する防火水槽を設置。防火水槽の補強工事を1基実施。		
その他 特記事項						
関連事業：						